

～ 取り組み課題 ～

- ・ 帰宅願望をなくすには？
- ・ お父さんの依存をなくすには？
- ・ 生活歴を知る（ご主人・娘様より情報を得る）

デイサービス若草

最初の様子から今現在の様子

- ・ 7月中旬まで帰宅願望あり、スタッフにすぎるような声で訴える。自分を叩いたり、つねることもあった。他者が怖がっていたり、慰めることもあったが、今は悲観的だが、時々スタッフを叩くことある。
- ・ 最初はスタッフの傍から離れず、又、他者と関わりを持とうとせず。今では、自ら他者に会話を振るが、言葉のキャッチボールは日によって異なる。
- ・ 利用時間がお昼までから1日利用になる。他者と1日一緒に過ごすことができるようになる。家族送迎から若草での送迎に変更になる。
- ・ 「お父さんは？」とホール内を探すことがあったり、終始「お父さんは？」とスタッフに尋ねてきていたが、今現在では、減ってきている。

入浴中と入浴前後の変化

- ・ 7月ご家族より入浴希望あり。初めは拒み、個別対応や女性対応にする。(今は、男性スタッフの直接的な対応はしてないが、傍にいても問題なく入浴される。)又、他者と会話しながら、入浴される。
- ・ 入浴前は、「どこに行くのね?」「何するのね?」と不穏あるが、入浴後は、「お金持っていないよ」「ありがとう」「ここでいいがね(ホールに行く声かけをすると)」「入ってよかった」というような言葉が返ってくる。

脳活性の取り組み

- ・ 最初の頃は、スタッフと一緒に塗り絵を試みるが、逆に怒り口調になる。
- ・ 唱歌を好み、リズムを取りながら歌われる。表情が強張っていても、表情豊かになる。
- ・ 取り組みに変化あり、現在はパズル等をして集中して取り組めるようになった。（時間は短い）
- ・ 過去の経験から調理について聞いたり、料理本や海外本を見て頂いたりしたが、興味は示さなかった。

状態に応じたケアをする事によって
以下の様子がわかってきた

- ・ 機嫌が良いと感じる時 . . . 笑ったり、表情豊か
スタッフの真似をし、
冗談が言える
- ・ 機嫌が悪いと感じる時 . . . 表情が引きつっている
イライラとしてスタッフ
を叩いたり、机を叩く
否定的な言葉が目立つ

～ご家族より～

- ・ デイ利用当初は興奮して、夜寝付けないこともあったが、今では決まった時間に就寝するようになり、生活のリズムが出来てきた。
- ・ 徘徊する事がある為、住所と連絡先、輸血が出来ないことが書いてあるカードを首からかけるようにしている。
- ・ 表情がよくなってきていると担当医から言われた。
- ・ ご主人の判断で薬（レオナミン）を減らしている時があるとのこと（8月）
- ・ ご主人がK氏に対する接し方が良くなり、ご主人が落ち着いて生活を送っている。ご主人としては、K氏が自分の手元から離れてしまうことを当初とても寂しく感じてたが、デイを利用することで自分の時間を確保することができることに気がついたとのこと。